

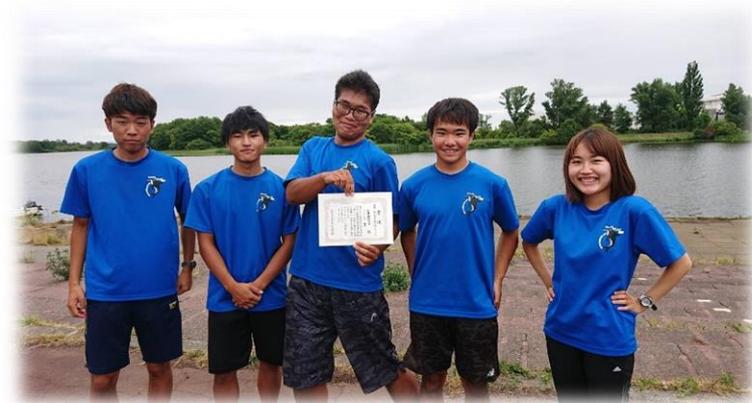
THE KILLER WHALE TIMES

2021年度 対北大定期戦号

皆さまいかがお過ごしでしょうか。こんにちは、タイムス班の佐藤です。

8月9日(月)に「第59回北海道大学対小樽商科大学漕艇定期戦」(以下北大戦)を開催することができました。新型コロナウイルスの影響により、無観客での開催となりましたが、北大さんの協力でドローンによる中継が行われました。結果は、対校男子新人舵手付きフォアは見事優勝、対校男子舵手付きフォアは惜しくも準優勝となりました。

皆様、応援誠にありがとうございました。



RACE RESULTS

○対校男子新人舵手付きフォア(1000mレース)

C:久保田奈名(1) S:島田悠太郎(1) 3:川村玄(1) 2:若菜海斗(2) B:奈良圭達(1)

レーン	クルー名	着順	タイム
2	北海道大学	2	3:48.72
3	小樽商科大学	1	3:47.47



写真：札幌ボート協会 中川 信治様



○対校男子舵手付きフォア(2000mレース)

C:西谷昇馬(5) S:岩谷旭(3) 3:久光智也(4) 2:長崎夕(2) B:根間大輔(4)

レーン	クルー名	着順	タイム
1	小樽商科大学	2	7:04.00
2	北海道大学	1	6:49.90



写真：札幌ボート協会 中川 信治様





COMMENT

○根間大輔(4)

北大定期戦で Bow として出場させて頂きました、4 年目主将の根間です。

最後の北大定期戦、なんとしても勝ちたいと思っていましたが、結果は北大が 6 分 49 秒 90、商大が 7 分 4 秒 00 の約 14 秒差での大敗でした。

スタートは練習通りに上手く決まり、200m 位まではいいリズムで漕げました。

しかし、そこからジワジワと艇差が開き、結果的に 4 艇身程の差でゴールすることになりました。

ただの言い訳ですが、まだクルーを組んで 2 週間で、上手く全員で水を掴むことが出来なかったのが敗因の 1 つではあるでしょう。

正直、悔しいというより情けないという感情の方が大きいです。

ですが、もう下を向いている時間は残されていません。

やれることを全てやり、最後のインカレに臨みます。

最後まで応援よろしくお願いします。

○西谷昇馬(5)

第 59 回北海道大学对小樽商科大学定期戦の対校フォアで COX を務めました西谷です。今年の定期戦について感想を述べさせていただきます。

今年の定期戦は昨年同様コロナ禍の影響もあり無観客での開催となりました。このような状況下の中でも定期戦を開く事ができたのは、運営のために奔走して下さった部員達とスタッフの皆様のお陰だと痛感しています。この場を借りて改めてお礼申し上げます、ありがとうございました。

今年の対校フォアは 2 年生の長崎を新たに加えたクルー編成で、練習量も 3 週間と短い中仕上げることになりました。長崎は初めてのスイープ、初めてのフォアで苦勞が多い中メキメキと上達を見せ、他の上級生と遜色がない技術を身につけるまで成長してくれました。彼の成長は僕の残り少ないボート部生活の楽しみの一つとなっています。

他のメンバーも厳しい練習に精力的に取り組んでおり、チーム内の雰囲気も良い状態でレースに臨む事ができました。

レース本番についてですが、大会当日は元々雨予報ではあったものの、レース中は運良く天候が崩れないうちに発艇できました。

スタート 500m は個人的に改心の出来でした。アベレージも普段より 2 秒ほど早い 1:44 程で 500m を通過でき、練習の成果を感じました。

しかし北大は更にその上を行っており、500m の時点でおおよそ 1~2 艇身差を付けられてし

まいりました。

その後も 1000m,1500m と徐々に差を付けられ、ラスト 500m で大体 3~4 艇身程差をつけられてしまいました。

対校フォアの漕ぎとしては、最初のスタート以降のコンスタントで上手くキャッチを掴めない事が艇速の伸び悩みに繋がったと感じます。この反省を活かし、インカレまでの現在の練習ではキャッチの意識を強く持って乗艇に臨んでいます。

結果としては北大が 6 分 49 秒、商大が 7 分 4 秒でフィニッシュ、ラストの追い上げも虚しく完敗を喫しました。

レースが終わった後、僕は敗北の悔しさよりはこのクルーで大会に参加できた満足感の方が強くありました。去年は悔しさに涙していたので、自分の心境の変化に驚いています。

「5 年生の僕がレースに参加できた、こんな僥倖はないな」と、大会に参加できる喜びを定期戦以降感じています。

ただ負けは負け、いつも同じ事ばかり言っていて恥ずかしいですが、次こそは勝利を掴むため、残り少ない練習を大切にしていきたいと思います。

今回対戦して下さった北海道大学漕艇部の皆様と、大会を運営して下さったスタッフの皆様にもう一度感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

そして応援して下さった OBOG の皆様も本当にありがとうございました。次のインカレでは恥ずかしくない姿をお見せできるよう努力を重ねていきます。

○島田悠太郎(1)

こんにちは、今回の定期戦に新人フォアで整調として出場させていただいた 1 年目の島田です。

6 月に行われる予定だった 1 年目にとって最初のレースであった茨戸レガッタが中止となり、この定期戦が初めてのレースとなりました。自分自身、小学校から高校まで野球をしてきて、レース競技自体も運動会以来であったと思います。

さて、人生初のレースの結果はと言いますと、、、見事勝利をあげることが出来ました。しかも本番前の 1000mTT の記録を 30 秒も更新してのゴールでした。

正直のところゴールするまで勝てるなんて微塵も思っていませんでした。というのも、相手は 4 人中 3 人が経験者で、かつ 1000mTT の平均記録も 5 秒程こちらが下回っていました。そのため、自分的には「負けてもしょうがない、むしろ勝ったらすごい」というように、逆に変なプレッシャーも感じずに比較的リラックスして臨むことが出来たと思います。そんな中行われたレースでは、相手の艇につられてコンスタントレートが上がってしまい、それまでにやった事のないようなレートで漕いでしまいました。しかし、最初から最後までアウトプットが落ちることなく、初めて聞くようなクルーの気合いの入った声と共に全員が漕ぎ通すことが出来たので、漕ぎは相手よりもバラバラで不安定であったにもかかわらず勝利を掴むことが出来ました。

最初は船を出してすぐに、誰もどうしていいかわからなくなり船台のちょうど対岸の草むらに突っ込んでしまっていたのも今となって懐かしい思い出です。

こうしていい報告ができたのも、毎日メニューを考え、モーターを出し、一人一人に細かく指導し、と自分たちの指導に尽くして下さった新トレの廣中さんのおかげであると思っています。今まで本当にありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願いします。最後になりますが、応援して下さった皆様、本当にありがとうございました。今後とも全力パドルで頑張っていきますので、宜しくお願い致します。

○久保田奈名(1)

新人フォアで COX として出場いたしました久保田です。

約1ヶ月、北大戦に向け練習してきました。練習ではまだ慣れないこともあり、蛇行しまくり、ブイにぶつかりまくりで、クルーのみんなにはすごく申し訳なかったです。また、まだあまり水上感覚を掴めていないこともあり、自分が COX をやることに申し訳なさが募る日々でした。こんな調子ですから、本番前日から腹痛になり、当日もトイレに何度も行ってしまいました。でも、練習で試行錯誤し、努力するクルーを見ていたから、自分も情けないことばかり言っていられないなと思いました。そして、まだ技術的なことが言えないなら、艇上の雰囲気作りに努めようと思いました。レース本番では、自分のコールとラダーワークにまだまだ課題が残るものの、クルーの努力と、新トレの廣中先輩のおかげで勝利することができました。絶対勝ちたいという思いはもちろんありましたが、経験者を3人も擁する北大に勝てるだなんて思っていませんでした。だからこそ、勝利の瞬間は非常に嬉しく、忘れられないものになりました。そして、勝ちにこだわる気持ちも強くなりました。今後のレースでも良い結果を残せるよう、成長していきたいです。

これからも応援よろしくお願いします。

監督兼ヘッドコーチ報告

監督 谷津法彦(平成5年卒)

エルゴの2,000mトライアルで、国体予選フォアに乗れなかった2年目の長崎、玉腰が急激に力を伸ばしていました。フォアでの800m漕メンバー総入れ替え戦でセレクションを行い、対校フォアがS.岩谷(3)、3.久光(4)、2.長崎(2)、B.根間(4)、C.西谷(5)となりました。

若返った分不安定な要素もありましたので、2,000mトライアルで得た課題を低レートロング漕で落とし込んで改善していったのが7/31と8/1の練習。平日LINEで送ってくれた練習動画を見ると日に日にクルーの型も決まってきて、猛暑続きの中調子を上げているのが分かりました。

しかし本番では15秒差で大敗。4週間前の国体予選では1,000mで6秒離されて敗戦だったので「今

の状態です。2,000m やったらその倍以上の 15 秒は離されるよ」と言ったのですが、結局その通りになってしまいました。この日の商大はベストタイムでしたが、商大が伸びた分北大も同じかそれ以上伸びた、という事です。地力の差を感じました。順で 7 分を切れなかった事もインカレを見据えた上で物足りません。自分としては期間が短かったとは言えもっと大会に向けての「絵」を描いてあげるべきだったなと反省しています。インカレに向けては目標とするタイム、理想的なレース展開、そこに向けてどんなプロセスを踏むのか、それを商大の武器と言えるまで磨き上げる事が、はっきりクルー間で共有する事を求めていると考えています。

1 年生について。

新トレ・廣中(3)の献身的な指導もあって、北大戦(ジョيوفォアでなくシェルフォア)では経験者 3 人を擁する北大に大金星をあげました。1 週間前に見た時はフォワードは水面擦ってるし途中から勝手に漕いでるしたまに豪快にしぶきを跳ね上げるし大変なものでしたが、ヘタはヘタなりに大きく強く漕ごうという意識が全面に出ているのはとてもいいと伝えました。出られても諦めずに攻め続けた勝利に、自分も感動しました。勝負の奥深さを感じたレースでもあります。

女子コックスの久保田(1)について。昨年日本ボート協会が競漕規則を改定。コックスはいわゆるジェンダーレスになりました。つまり男子種目に女子コックスが乗ってもいいし女子種目に男子コックスが乗ってもいいのです。これは商大のように部員の少ない団体には有り難いルール改定であり、ちょうど 5 年目の西谷が抜けたらコックスが不在になるころだっただけに女子コックスは充分検討の余地があった訳です。だからなってくれと頼んだ訳ではないですが、本人からは是非コックスをやってみたいとの意思表示があり、今回の北大戦をコックスデビュー戦として目標に掲げてきました。初めのうち右も左も分からずコースを蛇行しまくって私に怒られていた頃を思うと、今回の勝利は感慨深いものがあります。もちろん商大対校コックスとして全日本クラスの大会に出漕する事を視野に入れています。

ご意見、ご要望などございましたら下記アドレスまでお願いします。

n_tanitsu@yahoo.co.jp

後援会費について

後援会費は、原則として1年で¥10,000の定額です。 ¥10,000以上の金額をいただいた場合も、後援会費としてお預かり致します。後援会費はほぼ全額が現役部員の活動援助金として充てられますので、できる限り多くの皆様のご協力をお願い致します。(尚、後援会会則に則り、満年齢65歳以上の会員の方・既婚女性の会員の方は原則後援会費は免除扱いとなっています。)

後援会費は、日本信販の自動引落サービスをご利用できます。できる限り多数のOBの方々がご加入下さいますようお願い致します。ご加入方法及び引き落とし口座の変更ににつきましては、現役会計(廣中にいな)か担当の平成10年卒 佐藤公洋までお問い合わせください。振込先はこちらとなっています。

ゆうちょ銀行 店名・店番:908
口座番号:1532438 (普通預金)

北洋銀行 なまえ:オタルシヨウカダイガク
ソウ タイブ

店番:341
口座番号:3657349
取引店:小樽中央支店

連絡先: 会計 3年目 廣中にいな

TEL: 080-1896-7158

MAIL: ouc.rowing2021@gmail.com

＊個人情報保護の取り組み＊

後援会会員の方々には、小樽商科大学漕艇部の活動に必要な情報として、お名前・連絡先・勤務先などの個人情報をご提供いただいております。小樽商科大学漕艇部では、ご提供いただきました個人情報につきましては以下のように取り扱います。

- ・会員の方々の個人情報の利用については、小樽商科大学漕艇部の活動(後援会誌『しゃち』や『Killer Whale Times』の発送・配信など)の範囲内での利用に限定します。

- ・ご自身に関する情報の訂正・削除などのご依頼があった場合は、特別の理由がない限り対応をいたします。

- ・会員の方々の情報保護が確実に実施されるための継続的な改善を行い、適切に管理いたします。

ご意見やご提案等がございましたらお問い合わせください。今後ともよろしく願いいたします。

連絡先: タイムス班

1年目佐藤 虹歩

TEL: 090-8427-6066

Mail: rowing1937@yahoo.co.jp